

2022.4.25 mon
at NAKANO ZERO



TOKYO KOSEI WIND ORCHESTRA

#158 Subscription Concert 2022-2023

#158

Takeshi Ooi
Conductor

PROGRAM | プログラム

希望の彼方へ [TKWO2012年委嘱作品] / P.スパーク

Looking Up, Moving On (Commissioned work by TKWO, 2012) / Philip Sparke

[約8分]

Sparkling for Wind Orchestra / 冷水乃栄流

Sparkling for Wind Orchestra / Noel Hiyamizu

[約9分]

交響曲 第4番 / A.リード

Fourth Symphony / Alfred Reed

[約17分]

- | | | |
|------|-----------------|-----------------|
| 第1楽章 | 〈エレジー〉(悲歌) | I. Elegy |
| 第2楽章 | 〈インテルメッツォ〉(間奏曲) | II. Intermezzo |
| 第3楽章 | 〈タランテラ〉 | III. Tarantella |

休憩 Intermission [20分]

交響曲「ワインダーク・シー」 / J.マッキー

Wine-Dark Sea : Symphony for Band / John Mackey

[約30分]

- | | | |
|------|------------|------------------------------|
| 第1楽章 | 傲慢 | I. Hubris |
| 第2楽章 | 不滅の糸、とても脆く | II. Immortal thread, so weak |
| 第3楽章 | 靈魂たちの公現 | III. The attentions of souls |

❗ 注意

- ・本コンサートは、会場の観客の皆様を撮影する場合があること、および収録された映像がインターネット、DVDなど各種媒体で公開・販売されることを予めご了承下さい。
- ・ホール内での飲食、許可のないビデオ・写真撮影、および携帯電話・スマートフォンでの撮影はご遠慮ください。
- ・携帯電話・時計のアラームなど音の出る電子機器は電源をお切りください。
- ・演奏中のプログラムをめくる音、お客様同士での会話など音を発する行為は他のお客様のご迷惑となることがありますのでご配慮下さい。

東京佼成ウインドオーケストラでは、政府・各自治体およびホールの方針に基づき、最大限の感染予防と拡大防止のための対策を実施した上で、本公演を開催いたします。詳細につきましては、当団オフィシャルサイト掲載の《【重要】感染症予防対策についての取り組みとお願い》をご覧ください。

本公演に関する
アンケートへ
ご協力ください。



PROFILE | 指揮者プロフィール

大井 剛史 (正指揮者)

Takeshi Ooi
Conductor



©K.Miura

1974年生まれ。17歳より指揮法を松尾葉子氏に師事。東京藝術大学指揮科を卒業後、99年同大学院指揮専攻修了。若杉弘、岩城宏之の各氏に指導を受ける。96年安宅賞受賞。スイス、イタリア各地の夏期講習会においてレヴァイン、マズア、ジェルメッティ、カラブチェフスキーの各氏に指導を受ける。2000年～2001年、仙台フィルハーモニー管弦楽団副指揮者。2007年～2009年、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団にて研修。2008年アントニオ・ペドロッチ国際指揮者コンクールで第2位入賞。2009～16年ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉(現・千葉交響楽団)常任指揮者、2009～13年山形交響楽団指揮者、2013～17年同正指揮者を歴任。現在、東京佼成ウインドオーケストラ正指揮者。このほかほとんどの国内主要オーケストラを指揮し、多彩なレパートリーとその誠実な指揮でいずれも高い評価を得ている。オペラの分野では、在学中より新国立劇場、東京二期会などのオペラ公演で副指揮者を務め、2002年「ペレアスとメリザンド」(ドビュッシー)を指揮しデビュー、以降多くのオペラ作品を指揮するほか、ミュージカル「ウェスト・サイド・ストーリー」(バーンスタイン)も指揮。バレエの分野では「ロメオとジュリエット」(プロコフィエフ)などで新国立劇場バレエ団の公演を度々指揮、国内を代表するバレエ団やダンサーが一堂に会した「NHKバレエの饗宴」でも指揮を務めた。さらに、小松原庸子スペイン舞踊団や、野村萬斎、花柳壽輔、井上八千代といった日本舞踊界の名手たちと共演するなど、幅広い舞台芸術分野で活躍している。東京藝術大学音楽学部器楽科非常勤講師(吹奏楽)。尚美ミュージックカレッジ専門学校客員教授。

PROGRAM NOTES | 曲目解説—富樫鉄火(音楽ライター)

※本文中の「東京佼成ウインドオーケストラ」は「TKWO」と略しました。

P.スパーク 希望の彼方へ

2011年3月の東日本大震災のあと、復興支援曲ともいべき音楽がたくさん生まれました。

そのなかでも、吹奏楽曲としていち早く発表されたのが、イギリスの人気作曲家、フィリップ・スパークによる《陽はまた昇る》(The Sun Will Rise Again)だった。ただし、これはすでに書かれていたブラスバンド曲《カンティレーナ》を吹奏楽版に改訂したものだった。

その後、TKWOの委嘱で、オリジナル新作として作曲された復興支援曲が、本曲。2012年5月のTKWO仙台公演で、本日の大井剛史の指揮で初演された。初演時の曲名は《希望の彼方へーLooking Up, Moving Onー》だった。

《陽はまた昇る》が、ゆったりした壮大なバラードだったのに対し、本曲は、いかにもスパークらしい、スピーディで細かい高度なパッセージが続出する(中間部に、《陽はまた昇る》の旋律が引用されている)。原題《上を向いて、前進しよう》どおり、TKWOの新しい第一歩を象徴するような、明るい楽曲である。

TKWOとフィリップ・スパーク(1951～)の縁は、意外と古い。1989年、約1か月にわたったヨーロッパ・ツアーの途次、ロンドンのエンジェル・スタジオにおいて、エリック・バンクス(指揮)で《ドラゴンの年》吹奏楽版の世界初録音をおこなった、これが最初である。その後、《ダンス・ムーブメント》《オリент急行》《宇宙の音楽》といった人気曲を演奏・録音してきた。

ちなみに、スパークによるTKWO委嘱作は、《セレブレーション》(1992年6月、松江公演で初演)が最初で、本曲は第2弾にあたる。

冷水乃栄流 Sparkling for Wind Orchestra

大阪・茨木キリスト教福音教会を拠点に活動する「吹奏楽団コゾリテ」の委嘱により作曲され、2021年12月に初演された。

作曲者自身が「本作は『線香花火』を題材にしている。ほのかに瞬く花火が、徐々に輝きを増し、さまざまな方向に碎け散る。そのような曲を書きたくて思った」と述べているように、また、曲名からも察せられるように、「光」「輝き」を表現した。

なお、曲想には「ベツレヘムの星」「明けの明星」などもあったという。前者はイエス・キリストが誕生した際、強烈に輝く星があらわれ、東方の三博士をベツレヘムに導いた星。後者はイエス自身を意味する。混迷の社会状況が

つづき、暗い世の中でも微かな灯火を見る。その先に希望を透かして見る」(作曲者)曲で、これまた、TKWOの今後を照らすような、美しい響きの楽曲である。

楽器編成はアンサンブルというべき小ぶりなものだが、「任意のキイを叩いて息のノイズを出す」「マウスピースを外し、反対方向に向け、息を吹き込む」など、耳慣れない(見慣れない)特殊奏法が続出する。また、パーカッションに多くの楽器が指定されており、なかには「コルゲート・チューブ」(電線などを束ねて通す蛇腹のチューブ)などもある。音色のみならず、独特のヴィジュアルもお楽しみに。

作曲者、冷水乃栄流(1997～)は、東京藝術大学大学院修士課程作曲専攻在学中。2020年、《ノットファウンド》で第30回芥川也寸志サントリー作曲賞最終候補・聴衆賞受賞。同年、《TOKYO REQUIEM for Orchestra》で第89回日本音楽コンクール作曲部門2位。いま、もっとも期待されている若手作曲家である。

A.リード 交響曲 第4番

1993年7月にオランダ・ケルクラードで開催された、WMC(世界音楽コンテスト)／吹奏楽コンサート部門・最上級クラスの課題曲として作曲された(ただし初演は別団体がコンテスト以前におこなっている)。このコンテストは、1951年の第1回以来、4年に1回開催されている管打楽器の巨大な祭典。吹奏楽、ブラスバンド、ファンファーレバンドなど、いくつかの部門がある。

この年、本曲で優勝したのは、ハインツ・フリーセン指揮／トルン聖ミカエル吹奏楽団(オランダ)。自由曲のリヒャルト・シュトラウス《死と変容》とともに、のちに伝説となる超名演が展開した(おなじトルンの「オランダ王国トルン吹奏楽団」との凄絶な優勝争いとなり、町が二分する騒ぎとなった。後日、両団体はおなじコンテストには出場しないとの申し合わせを交わすことになる)。

大井剛史 & TKWOは、アルフレッド・リード(1921～2005)の交響曲をつづけてとり上げており、本日は、第2(2015年6月)、第3(2021年9月)につづく第3弾(リードは交響曲を全部で5曲書いている)。演奏時間は約17分で、「交響曲」としては小ぶりだが、世界最高レベルのコンテスト課題曲として書かれただけあり、高難度のテクニックを要する難曲である。

曲は3楽章構成。特に標題(描写)音楽ではないが、楽章ごとに副題が付いている。

I 〈エレジー〉(悲歌)

リード作品としては珍しく、ゆっくりと静謐に開始する。オーボエとフルートの幻想的な旋律から次第に楽器が加わり、やがて最後も静かなコーダを迎える。長い息を要し、約7分間、一瞬たりと緊張が途切れない見事な楽章である、

II 〈インテルメッツォ〉(間奏曲)

リードお得意のラテン風の曲想あふれる楽章。リード自身「厚みのある音色部分でも、軽く響かなければ

ならない」と述べているように、全体に軽やかさが要求される、難しい曲である。

Ⅲ 〈タランテラ〉

「タランテラ」はイタリア・ナポリを起源とする、8分の6拍子の舞曲（映画『ゴッドファーザー』冒頭の結婚式に登場し、一躍有名になった）。クラリネットとテナー・サクソフォンではじまり、フーガのように次第に旋律が重なる熱い楽章となっている。リードはこの舞曲も大好きで、文字通り《タランテラ》なる曲も書いている。

なお、本曲のスコア上の正式曲名は、《Symphony No.4》（交響曲第4番）ではなく、《Fourth Symphony》（第4交響曲）である。

J. マッキー

吹奏楽ための交響曲《ワインダーク・シー》

原典について

本曲の原典は『オデュッセイア』である。

西洋文学の源泉、叙事詩『イリアス』と、その続編『オデュッセイア』は、紀元前8世紀ころにギリシャで成立した。当初は吟遊詩人による口承で伝わっていたが、紀元前6世紀ころに文字で記録された。まとめたのは詩人ホメロスとされている。だが、これほど巨大な詩（各24歌構成で、計2万8,000行！）をほんとうに彼ひとりがかまとめたのか、そうでないとしたら彼がどの段階で、どのように関わったのかなど、いまでもよくわかっていない。

『イリアス』はトロイ戦争末期の戦いを描き、続編『オデュッセイア』は、そのトロイ戦争の英雄オデュッセウス（ラテン語名：ウリュッセウス／英語名：ユリシース）が、10年をかけて故郷イタケー島（現在のギリシャ、イオニア海）へ帰り着くまでの旅路を描いている。

トロイ戦争とは、紀元前1,000年以上前に、ギリシャ連合軍とトロイア（現在のトルコ近辺）の間で10年以上もつづいた（といわれている）戦争。もともと「神話」だったが、19世紀末、『イリアス』に魅せられた実業家、シュリーマンが遺跡を発掘し、それらしき出来事が実際にあったことが証明された。オデュッセウスはこの戦争で「トロイの木馬作戦」を指揮して、ギリシャ連合軍を勝利に導いた武将ということになっている。

『オデュッセイア』は、そんな彼の、終戦後の「漂泊の旅」を描いたものだが、後年、多くのクリエイターを刺激した。もっとも有名なのは、モンテヴェルディのオペラ《ウリュッセの帰還》（1640）。そのほか、ジェイムズ・ジョイスの小説『ユリシース』（1922）や、映画『2001年宇宙の旅』（1968／原題『2001: A Space Odyssey』）などに翻案されている。

楽曲について

『オデュッセイア』には、枕詞のような決まり文句がよく登場する。そのひとつが「wine-dark sea」で、全24歌中、12か所に登場する（『イリアス』にも一部登場する）。直訳すると「葡萄酒のような暗い色の海」だが、戦前から、日

本では「葡萄酒の色湧かす大海」（土井晩翠訳）などと訳されてきた。これは地中海のことで、海の大きさや荒々しさの描写なのだが、なぜ地中海を、赤黒い「葡萄酒色」と表現したのか——古代の地中海はいまより暗い海面だったとか、ホメロスは盲目だったので表現が独特になったとか、諸説あって定まっていない。

本曲は、この『オデュッセイア』から、「ワインダーク・シー」をキーワードに、主に3つの場面を音楽化した、3楽章構成の交響曲である。テキサス大学の委嘱により作曲され、2014年2月、同大ウインド・アンサンブルが初演した。

古代ギリシャでは、人間界の出来事は、天上の神々がコントロールしていると考えられていた。オデュッセウスの旅は、神々が救いの手を差し伸べる一方、息子を彼に殺された海神ポセイドンが、復讐として旅路を妨害したりする。よって、とにかく旅はトラブルの連続で、物語は、地中海を彷徨するオデュッセウスと、天上で対立する神々の「二重構造」で展開する。さほど広大とも思えないエリアをさ迷い、帰郷まで10年余もかかった理由が、ここにある。そのことを脳裏において聴くと、面白さが増すだろう。

I : Hubris（傲慢）

おそらく冒頭部と第12歌あたりが主な原典。オデュッセウスの旅立ち（何かの引用を思わせる、不思議なファンファーレ）を不協和音が邪魔し、不安な空気が漂う。彼の部下が、太陽神ヘリオスの家畜を殺して食べたため、大神ゼウスが怒って、オデュッセウスの船を難破させる。

II : Immortal thread, so weak（不滅の糸、とても脆く）

おそらく第5歌あたりが主な原典。女神カリュプソーに惚れられ、7年間も囚われるオデュッセウスの穏やかな日々が描かれる。大神ゼウスから出発の許可が出て、ふたたび海路につく（その後、海神ポセイドンによってまたも難破させられ、王女ナウシカアに会う）。この楽章を、マッキーは妻に捧げている。

III : The attentions of souls（靈魂たちの公現）

第11歌「冥府めぐり」と最終部が主な原典。あの世を旅するオデュッセウス。戦死した兵士や、亡き母の霊に会うが、その彼方に、ついに故郷イタケー島が見える。曲頭では不安げだったファンファーレが、今度は華々しく奏でられる。まさに、新たな旅路に船出したTKWOが、無事に碇着する姿のようでもある。

ジョン・マッキー（1973～）は、アメリカの作曲家。特に楽器を学ぶことなく、早くからコンピュータによる作曲をおこなってきた。正式な音楽教育は、クリーヴランド音楽大学に入学してから。その後、ジュリアード音楽院でも学んだ。日本でも《翡翠（かわせみ）》《レッドライン・タンゴ》《アスファルト・カクテル》《オーロラ目覚め》など、多くの曲が演奏されている。

近年、日本で人気のあるのが、本日の《ワインダーク・シー》で、2017年度の吹奏楽コンクールの支部大会集計では、自由曲の演奏回数第1位の人気曲となった。

〈敬称略〉

PROFILE | 楽団プロフィール



©Atsushi Yokota

東京佼成ウインドオーケストラ

Tokyo Kosei Wind Orchestra

1960年(昭和35年)5月、立正佼成会附属の「佼成吹奏楽団」として発足、

その後1973年に「東京佼成ウインドオーケストラ」へ改称した日本が世界に誇るプロ吹奏楽団。

吹奏楽オリジナル作品、クラシック編曲作品やポップス、ポピュラーまで

幅広いレパートリーの演奏を通し高い音楽芸術性を創出し、

多くの人が楽しめる管楽合奏を展開、各地のコンサートで好評を博している。

また多くのレコーディング、テレビ・ラジオに出演し、吹奏楽文化の向上・普及・発展に尽力している。

2020年に楽団創立60周年を迎え、同年1月より大井剛史が正指揮者、

トーマス・ザンデルリンクが特別客演指揮者、飯森範親が首席客演指揮者、

藤野浩一がポップス・ディレクターに就任。

2022年4月より立正佼成会から独立し、一般社団法人東京佼成ウインドオーケストラとして活動。

MEMBERS | 演奏者名簿

桂冠指揮者 …… フレデリック・フェネル

正指揮者 …… 大井剛史

特別客演指揮者 …… トーマス・ザンデルリンク

首席客演指揮者 …… 飯森範親

ポップス・ディレクター …… 藤野浩一

指揮 …… 大井剛史

演奏 …… 東京佼成ウインドオーケストラ

Piccolo …… 丸田悠太(Flute)

Flutes …… 前田綾子、伊藤愛、
白石法久、山内豊瑞

Oboes …… 宮村和宏^{*}、裏紗蘭

EnglishHorn …… 海上なぎさ

Bassoons …… 福井弘康、栗林愛理

ContraBassoon …… 君塚広明

Clarinet in E b …… 松生知子

Clarinet in B b …… 大浦綾子、林裕子、太田友香^{*}、
大和田智彦、草野裕輝、櫻田はるか、
野田祐太郎、福井萌、吉本拓

AltoClarinet …… 瀧本千晶(BassClarinet)

BassClarinet …… 有馬理絵

ContraBassClarinet …… 原浩介

SopranoSaxophone …… 田中靖人(AltoSaxophone)^{*}

AltoSaxophones …… 林田祐和、神保佳祐

TenorSaxophone …… 都築惇

BaritoneSaxophone …… 板尾克樹

Trumpets …… 奥山泰三、ガルシア安藤真美子、
河原史弥、池田英三子、浦井宏文、
関間健太、川村大、小林鴻

Horns …… 上原宏、堀風翔^{*}、小助川大河、
林育宏、山下裕也

TenorTrombones …… 今村岳志^{*}、石村源海、
上田智美、東川暁洋

BassTrombone …… 佐藤敬一郎

Euphoniums …… 岩黒綾乃、大山智

Tubas …… 久保和憲、若林毅

Contrabass …… 前田芳彰^{*}

Timpani …… 坂本雄希

Percussion …… 渡辺壮、和田光世^{*}、奥田真広、
木下卓巳、市東章代、藤井里佳、
村居勲、山本貢大

Harp …… 見尾田絵里子

Piano …… 神原颯大

※演奏委員

コンサートマスター

田中靖人

役員

理事長 …… 勝川本久
専務理事 …… 堀風翔
理事 …… 井小萩浩之
監事 …… 清水宏一

インスペクター

板尾克樹、丸田悠太、今村岳志

事務局

事務局長 …… 勝川本久
事務局次長 …… 井小萩浩之
制作
岩崎友香(パーソナルマネージャー)
大橋証太(ステージマネージャー)
羽田紀子(ライブリアン)

企画委員

原浩介

広報
尾崎真也
荻沼美帆(チケットサービス)
賛助会・サポーターズクラブ
荻沼美帆
尾崎真也
佐原由起
総務
佐原由起
経理
水本孝枝

賛助会員

2022年4月1日、東京佼成ウインドオーケストラは「一般社団法人 東京佼成ウインドオーケストラ」に生まれ変わりました。今後も音楽文化の発展に貢献する活動を行い豊かな社会を実現するため、趣旨にご賛同いただける多くの皆様からの継続的なご支援が必要です。賛助会へのご入会をぜひご検討ください。

年会費	賛助会員	維持会員	特別会員
個人	3,000円/1口	10,000円/1口	100,000円/1口
法人	100,000円/1口	300,000円/1口	1,000,000円/1口



詳細はこちら

※会員期間：会費納入翌月より1年間

お問い合わせ：東京佼成ウインドオーケストラ事務局 賛助会担当 FAX:03-5341-1255 MAIL:patronage@tkwo.jp

賛助会員の皆さま

五十音順、敬称略で掲載させていただいております。(2022年4月1日現在)

法人会員

特別会員 (株)佼成出版社

維持会員 エーユーツーリスト((株)アコード)

賛助会員	アトリエ・エム株式会社	遠藤製作所 遠藤悦治
	海鮮食堂余市の仲間達	株式会社CAFUAレコード
	鈴木住地(有)	株式会社全音楽譜出版社
	立花産業(株)	株式会社プリマ楽器
	株式会社HANDYMAN 代表取締役 久保井恵子	株式会社日乃本錠前
	柳澤管楽器株式会社	

個人会員

特別会員	アイちゃん	天野 正道	岡部 克子
	加賀美 猛	菅野 泰正	関根 紳雄
	田中 淳子	長瀬 善則	林 正作
	林 總太郎	ヘルベルト・フォン・ホリヤン	古沢 秀明
	ミーゴ	三浦 徹	匿名7名

維持会員：140名 / 賛助会員：113名



SUPPORTERS CLUB

東京佼成ウインドオーケストラ サポーターズクラブ

会員募集中

東京佼成ウインドオーケストラ(TKWO)を応援したい仲間が集まるファンクラブです。

TKWOをもっと身近で特別な存在に♪

サポーターズクラブへ入会して、一緒にTKWOを盛り上げていきましょう!



詳細はこちら

PR Supporters PRサポーターの皆さま

敬称略で掲載させていただいております。(2022年4月1日現在)

TKWOのチラシやポスターの設置にご協力いただいている皆さまをご紹介します。

▼店舗等一覧

アルル音楽教室
(株)コマキ楽器 ジャパンパーカッションセンター
ブレーン(株) 広島本社
ブレーン(株) 東京支社
(株)管楽器専門店ダク
ミュージックスクール「ダ・カーポ」
(株)セントラル楽器
日本大学芸術学部音楽学科 江古田校舎
管楽器雑貨専門店pitch
ザ クラリネット ショップ
(株)ドルチェ楽器 管楽器アヴェニュー東京
(株)永江楽器水戸
野中貿易(株)
(株)ヤマハミュージッククリティカル 横浜店
宮地楽器 小倉店 ANNEX
(株)池袋音楽学院
(株)CAFUAレコード
吹奏楽webマガジン「Band Power」

吹奏楽専門ショップ「Band Power」
大江戸シンフォニックウインドオーケストラ
ドレミファクトリー
フルート専門店 テオバルト
アトリエ・エム株式会社
イシバシ楽器 横浜店
フォルテ・オクターヴハウス
管楽器専門店ウィンズスタイル
葡萄房 by THE CAMEL
やしろ食堂
吹奏楽酒場「宝島。」
金寿司
フローリスト花六
中華 大折
海鮮食堂余市

▼個人のお客様

渡邊 直子
樫野 哲也

東京佼成ウインドオーケストラでは
PRサポーターを募集しております。

東京佼成ウインドオーケストラの活動をサポートしていただけませんか?
ポスター・チラシの掲示、チラシを設置していただける店舗・公共施設を募集しております。(個人も含む)ご協力頂ける皆さまのご芳名は定期演奏会プログラム・オフィシャルサイトに掲載させていただきます。

TKWO オリジナルグッズ好評販売中!

Original goods

新商品
登場!

ほかにも多くの商品をご用意しております。

ご購入・詳細はこちら



右肩部分

新オリジナルTシャツ

各1着 2,500円(税込)

会場限定/各1着 2,300円(税込)



オリジナルブラボータオル

1枚 1,700円(税込)

会場限定/1枚 1,500円(税込)

◎サイズ:34×86cm ◎素材:綿100% 今治産

国内で生産された今治産タオルに「BRAVO」がプリントされています。

好評
販売中!



東京佼成ウインドオーケストラ60年史

世界に誇るスーパーアンサンブル集団のすべてが凝縮
いま初めて紐解かれる、秘められた驚愕のエピソード

1960年、たった「15名」で始まった吹奏楽団が、
いかにして世界最高の響きを奏でようになったのか。

定価:3,080円(税込/本体2,800円+税)

四六判(本文132mm×191mm)/丸背厚表紙/384頁/ISBN 978-4-10-910188-2

世界中の音楽愛好家へ捧ぐ完全永久保存版!



結成3年目、第1回定期演奏会の模様。

1963(昭和38)年3月10日、杉並公会堂にて。指揮は、創設者のひとり、河野貴造・副楽長。

この日は、ロッシーニ《セビリアの理髪師》序曲、チャイコフスキー《スラブ行進曲》などが演奏された。

全国有名書店、および東京佼成ウインドオーケストラ事務局でお求めいただけます。

詳細はオフィシャルサイトをご確認ください。▲



TOKYO KOSEI WIND ORCHESTRA

定期演奏会スケジュール

2022-2023

@なかのZERO 大ホール

第159回 2022年9月30日(金) 19:00開演(18:15開場)

指揮:飯森範親(首席客演指揮者)

予定曲目

- 青い水平線(ブルー・ホライズン)/F.チェザリーニ
- ダンス・ムーブメント/P.スパーク
- 交響曲第3番/J.パーンズ

料金(税込):全席指定 ¥5,000/U25割引(25歳以下)¥2,500

1回券発売日:調整中



©山岸伸

第160回 2023年1月28日(土) 14:00開演(13:15開場)

指揮:ユベール・スダーン

予定曲目

- 13管楽器のためのセレナーデOp.7/R.シュトラウス
- アルプスの詩/F.チェザリーニ
- ティル・オイレンシュピーゲルの愉快ないたずら
/R.シュトラウス/大橋晃一 編
- 歌劇「ばらの騎士」組曲/R.シュトラウス/酒井 格 編

料金(税込):全席指定 ¥6,000/U25割引(25歳以下)¥3,000

1回券 発売日:調整中



©N. Ikegami

A NEW GENERATION IS COMING UP

YAMAHA CLARINETS

<i>Vmaster</i> SE	<i>Vmaster</i> CS	<i>Custom</i> SE	<i>Custom</i> CS	<i>Custom</i> SE	<i>Custom</i> CX	プロフェッショナル 650	アルトクラリネット 631
YCL-SEVmaster / YCL-CSVmaster	YCL-SEV / YCL-CSV	YCL-SE	YCL-CX	YCL-650	YCL-631		
B [♭] 管 506,000円 A管 572,000円	B [♭] 管 434,500円 A管 484,000円	B [♭] 管 379,500円	B [♭] 管 324,500円	B [♭] 管 258,500円	E [♭] 管 715,000円		

お問い合わせ

株式会社ヤマハミュージックジャパン
〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11
お客様コミュニケーションセンター管弦打ご相談窓口
ナビダイヤル: 0570-013-808
つながらない場合は053-411-4744へおかけください。
受付時間: 月～金 10:00-17:00
(土曜・日曜・祝日・センター指定休日を除く)

新製品情報は
こちらから



**ヤマハ管楽器
安心アフターサポート**

※申込期間は、ご購入～1ヶ月以内



詳細はこちら

株式会社ヤマハミュージックジャパン

主催

一般社団法人 東京佼成ウインドオーケストラ

共催

なかのZERO指定管理者

後援

一般社団法人全日本吹奏楽連盟

東京都吹奏楽連盟

公益社団法人日本吹奏楽指導者協会

公益財団法人日本音楽教育文化振興会

一般社団法人日本管打・吹奏楽学会

一般社団法人日本吹奏楽普及協会

日本コロムビア株式会社

株式会社テレビマンユニオン

助成



文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会

<https://www.tkwo.jp/>

